

財団法人JKA オートレース公益資金による補助事業（2006～2010年度）

年度	事業名	助成金額
2010年	「小児がんの子どもたちの絵画展開催補助事業」	1,509,200円

目的：当事業は小児がんの子どもたちの描いた絵（原画）を展示することにより、一般の方々に小児がんの存在、小児がんについている子どもたちの存在を知っていただき、小児がんの正しい理解を促すことと偏見をなくすことを目的とする。

成果：平成10年度より独自に事業を実施、今年度は、財団法人JKAの補助事業として実施し、これまでで最多の51作品を展示することができた。また、3日間の開催期間中の来場者数（1427名）も過去最多の人数となった。

来場者からのアンケートでは、「毎年楽しみにしています。今後もぜひ続けてほしい」「ひとり一人の絵とコメントを読んでいると、子どもの姿、ご両親の思いが伝わり涙が出てしまいました」「生き生きとした色使いや人柄を表したような印象の絵が多く、どの絵も素晴らしかったです。」など等、多くの感想が寄せられ、啓発活動としての成果を得ることができた。



小児がんの子どもたちの絵画展 アンケートまとめ

(2010年12月17～19日 於:大阪国際会議場)

○来場者数

	午前	午後	合計
17日	143名	173名	316名
18日	300名	412名	712名
19日	227名	172名	399名
合計			1427名

○アンケート回答数(人)

17日	14
18日	24
19日	24
合計	62

○アンケート回答者の状況(人)

性別

男性	24
女性	37
無回答	1

年齢

10代	1
20代	7
30代	18
40代	17
50代	10
60代	7
無回答	2

所属

出品者家族		6
学会参加者	医師	23
	看護師	16
	コメディカル	2
	学生	3
公開シンポジウム参加者		4
ホテル利用者		1
その他		5
無回答		2

○今回の絵画展について

とてもよかった	55
よかった	6
ふつう	0
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
無回答	1

○それはどのような点でしょうか(自由記述)

- ・今回は出展数も多く年齢もさまざまでした。
- ・子どものもつ能力の素晴らしさを感じた。
- ・子ども達の様子(絵を書いているときの楽しさ)が思い浮かびました。
- ・一生懸命描かれた様子と病気と一生懸命闘っている様子がよく伝わってきました。
- ・子ども達の Power が詰まった作品が多かったので、子ども達の力強い生命力を感じる。とても生き生きとしている。
- ・本人、ご両親の気持ちを改めて考えさせられました。子どもも私が想像できないことを常に考え苦しみ闘病していることを再認識しました。
- ・病気である辛い気持ちの中から、優しさ、生への強い希望を感じる。
- ・子ども達の素直な思い、家族の思いがひしひしと伝わってきました。
- ・子ども達の気持ち力強さが本当に強く響きます。
- ・子ども達のイラストがとてもきれいでした。
- ・入院中の子ども達の気持ちが現れているように感じました。
- ・子ども達が辛い治療の中でも絵に使われている色彩のような明るさを持っていたのが分かった。
- ・生き生きとした色使いや人柄を表したような印象の絵が多く、どの絵も素晴らしかったです。

- ・よかったのだろうと思います。このような絵画展が見れたこと、貴重な時間でした。小児だけでなく、本当に「一人の人生は・・・」と考えさせられる日々であります。小児看護に携わっていますが、人生とは何かとつくづく考えさせられています。
- ・ひとり一人の子どもさんの思いが表現されている。ご家族も大切な思い出として心の支えになっている様子がメッセージとして伝わってきます。
- ・病気と闘いながらも、いつも強い気持ちと夢を持っているというのは、全ての絵からにじみ出ています。勇気を分けてもらいました。
- ・それぞれのお子さんが描いた絵とコメントを読んで感動しました。
- ・普段現場から離れて、小児がんの子どもに関する調査等を行っていると、ついつい、小児がんを小児がんの集団として見てしまい、個人個人を見ていないのではないかと思うことがある。こういう絵に触れることによって、一番大事な部分がかめられるように感じる。
- ・子どもとご両親の思いのこもった言葉にいつも心動かされています。また来年も参加します。
- ・子ども達の力を感じる。優しい気持ちが伝わってくる。いつの時も今をしっかり生きていることが伝わっている。
- ・様々な場面で自己表現のチャンスが提供されるのはよいこと。
- ・子ども達の輝きを感じられて、毎年楽しみにしております。
- ・生きている証、生きていた証がとても感じられました。私たちが今、生きていること、何げない毎日でもかけがえのない時間、日々と云うことを教えられました。素敵にかざられていていいですね。子ども達の喜ぶ顔が浮かびます。私も子ども達の絵、こんなふう飾ってあげたいなと思いました。
- ・あたたかい気分になった。
- ・全ての絵が鮮やかに生き生きと描かれていてとても素敵でした。
- ・皆、上手に描けているし、家族の思いも伝わってきました。
- ・ものすごいインパクトでした。
- ・ひとり一人の気持ち、考え、人生、家族の存在を実感し、その大切さが伝わりました。
- ・自分も絵を扱う人間として勉強となる部分が多くありました。
- ・絵とともにコメントを読むとその子のストーリーが思い浮かんできました。いい展示だと思います。
- ・絵とともにコメント、病名等も展示され、描かれた状況などとてもわかりやすかったです。
- ・子ども達の純真な心と親の子どもを思う心に感動した。多くの人に絵画展を見ていただきたいと思います。
- ・子ども達のエピソードが添えられ、どんな子が描いたのか想像することができた点
- ・娘が神経芽腫で絵画展に出品させていただきました。きれいな額に入れていただき、大切に飾られていてありがたく思いました。
- ・頑張る気持ちを新たにしてくれました。
- ・絵は本当に子どもらしくかわいいのに、その子が病に犯されているなんて、想像できなかった。こういう気持ちになったことは初めてでした。
- ・一生懸命な子ども達の温かい絵を展示のように額に飾って見られるようにしてあるのが、とてもよいと思います。辛い中でも、この絵を描いているときの子ども達が生き生きしている姿が浮かんできます。
- ・絵を描いた子どもの生きようとする力を感じました。胸にじんとくる素晴らしい絵です。

- ・描いている時の姿を想像して心が温かくなりました。
- ・絵とコメントと写真のセットで、その子がどんな思いでどんな風に描いていたのか、すごくよくイメージし共感できました。
- ・絵の下に説明があって、絵の背景となる子どもの気持ちが分かった。
- ・ひとつひとつの絵画にコメントがあり、作者の方やご家族の思いや考えを知ること、絵画に深みが出ました。

○今回の絵画展をご覧になったの感想等(自由記述)

- ・家族を描く絵が多く、また色調もカラフルであった。
- ・絵とコメントが胸を熱くしました。心に届くメッセージです。生と死、向かい合って今を生きている思いがひしひしと伝わります。
- ・思わず涙が出ました。私も一生懸命生きなければと思いました。来てよかったと思います。
- ・日々の診療により励もうと思います。
- ・コメントを読み、絵を見て、涙しました。感動をありがとうございます。
- ・全国でこのような展示会が開催されたいです。何度見ても涙が出ます。
- ・普通でいることがどれだけ幸せなことか？自分たちができること、どんどんやっていきますよ
- ・次回は是非、地元で！多くの方々に見てもらいたいです。
- ・環境面ですが、子ども向けの音楽の方がイメージがまた膨らんでよいのではないかと思います。
- ・是非、また別の機会にもっとたくさんさんの絵を見たいと思います。
- ・亡くなった児を思い出しながら拝見しました。また私も亡くなった児に手紙や言葉などをいただき、突き刺さる思いで…。涙が止まらず、今この用紙を書き、気持ちを落ち着かせているように思います。
- ・ひとり一人の絵と文章を読んでいると、けなげなる子どもの姿、ご両親の思いが伝わり、涙が出てしまいました。
- ・病氣と闘っている子ども達のことを思い浮かべながら見せていただきました。病氣が治れば平等に当たり前の生活ができるので、私たちもよいサポートをしながら支えていかなければと感じました。お子さん達の絵を通して、日頃のケアを見つめるきっかけになりました。ありがとうございます。
- ・いつも見に来ていますが、子ども達の病氣に負けない強い心にいつも感動します。長期入院のせいか、“家族みんな”の絵が多いですね。入院させている身としては、“仕方ないけれど ごめんね”です。
- ・毎回、楽しみにしている。子ども達の画集ができたらいいですね。
- ・強すぎて強烈です
- ・ひとり一人の言葉の重さに涙が出そうになります。是非、学会以外のところでも展示していただきたいです。また、病院にいる子ども達のために、写真を取れましたら嬉しいです。(こんな絵画展があるんだよという話はいつもしているのですが…)
- ・初めて学会に参加し、素敵な絵、子ども達の思いに触れられて、嬉しく思います。ありがとうございました。
- ・一生懸命に生きている(いた)ことがよく伝わってきました。
- ・早くに天国へ旅立ってしまった子ども達のメッセージが絵から伝わり、辛い治療に頑張りながら作品を完成させており、本当によく頑張ったねと思いました。涙が止まらず、この作品を見て、がんと闘う子ども達から生きるパワーをもらいました。私も小児がんと闘う子ども達に関わる仕事をしているので、これからも子どもやご家族の方に寄り添っていきたいです。

- ・宝物を見せていただきました。感動をありがとう。
- ・皆、精一杯頑張って治療を乗り越えていること、亡くなっても、きちんと Family の中にその子がいることが分かった。このような子ども達がいることを看護師の私が少しでも伝えられたらと思いました。
- ・毎年、子ども達の絵に出会うのを楽しみにしています。
- ・涙が止まりませんでした。
- ・どの絵を見てもカラフルで笑顔なのに驚きました。
- ・少しでも、ひとつでも、何か支えになれることを、医療従事者として強く感じました。
- ・一筆、一筆に気持ちがこもっていて、伝わってくるものが計り知れませんでした。全ての作品が素晴らしかったのです。
- ・子ども達の思い、家族の思いが詰まっている場で、悲しい涙でなく、涙でいっぱいになりました。とても素敵な絵画展をありがとうございます。これからもいろいろな場所で続けて行って欲しいです。
- ・どの絵も心がこもっていて、とてもよかったです。特に網膜芽細胞腫の子が、見えないのに想像力をフルに働かせて描いた絵に心を打たれました。
- ・普段、同様の子ども達を看ていることもあり、涙が込み上げてきました。本当に素敵だと思います。これからも続けてくださればと思います。
- ・子ども達からのメッセージは永遠のいのちです。そう思いました。どれも全て Great!(素晴らしいと思います)涙が込み上げてきました。
- ・絵に様々な思いが込められていて、いろいろ感じました。娘と来場させていただいて、娘も何か感じたようでありがたいです。
- ・本当に素晴らしくかわいい作品で感動しました。こういった展示がいろんなところで行なわれ、多くの人に感動を与えられたらよいと思います。絵から生命を感じました。
- ・星の国に行ってしまった子らの絵とご家族の思いが、毎日身に沁みます。また今回も元気になった子(元、子ども)らの絵も大変楽しく元気をもらいました。
- ・自分が受け持ってきた子ども達や、今、入院しながら頑張っている子ども達と重なりました。
- ・子ども達にとって、楽しい時間を作ってあげたいです。そしてご家族にとってもよい時間を作っていけるように子ども達との時間を作っていけるようにしたいと思いました。
- ・もっともっと絵を見たいです。絵って、見る人にいろんなメッセージを伝えてくれるんですね。
- ・子ども達がどんな思いで闘病生活を送り、どんなことが辛くて、楽しくて、嬉しいことなのかを少しでも知ることができました。
- ・網膜芽細胞腫の子で、目がほとんど見えないのに、絵が描ける、そして素敵な色使いがビックリしました。絵は気持ちを示す心理的なものもあるので、明るい色彩で描かれているタッチは、辛い闘病生活を過ごしている中でも明るい光が垣間見れて、見ているこちら側に勇気もてました。